

事務事業評価シート(事後評価)

事業コード 5-2-1	事務事業名 高齢者生きがい推進事業	所管部課 福祉部 高齢者支援課
----------------	----------------------	-----------------------

施策コード 笑2-2	施策名 高齢者の生きがいづくりの充実	施策目標 高齢者が地域のなかで生きがいをもって人生をおくることができるまちをめざします。
---------------	-----------------------	---

事務事業の概要	事務事業の目的 高齢期の生活を健全で明るく豊かなものにし、高齢者福祉の増進を図る。	根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等／補助の概要：補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等 ※該当する予算事業名・節目を明記する 高齢者の知識及び経験を活かし、生きがいと健康づくり及び介護予防、健康の増進、教養の向上並びにレクリエーションのための多様な社会活動や各種講座等への参加を通じ、高齢期の生活を健全で明るく豊かなものにするるとともに、いきいきとした高齢社会の実現を目指す。 (平成20年度から社会福祉協議会に委託) 03) 民生費 01) 社会福祉費 03) 老人福祉費 23) 高齢者生きがい推進事業費 13) 委託料 01) 高齢者生きがい推進事業管理委託料、ほか	
	事業開始時期 合併前 年度 実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()	

項目		単位	22年度	23年度	24年度	25年度
事業費 財源内訳	事業費(A)		39,620	41,217	42,534	45,481
	国庫支出金・都支出金		14,812	15,673	16,195	17,629
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他(地域福祉基金繰入金)		1,000	0	2,000	3,000
	一般財源		23,808	25,544	24,339	24,852
所要人員(B)	人	0.26	0.26	0.15	0.15	
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	2,101	2,123	1,155	1,235	
臨時職員賃金等(C')	千円	0	0	0	0	
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	41,721	43,340	43,689	46,716	
単位当たりコスト (E)=(D)/(開講回数(福祉会館各種教室等))	千円		33	34	33	0

活動等指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度
①開講回数(福祉会館各種教室等)	実績値	回	1,264	1,278	1,324	
②開講回数(高齢者大学等)	実績値	回	33	34	35	
《指標の説明・数値変化の理由 など》 福祉会館等で行っている各種講座・教室の開催回数を示す。年々講座等への参加希望者が増えてきているため、できるだけ要望に応えるように講座・教室数を増やしている。						
成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度
一 参加者数(福祉会館各種教室等)	目標値	人				
	実績値	人	33,238	38,198	42,090	
二 参加者数(高齢者大学等)	目標値	人				
	実績値	人	2,573	2,889	2,574	
《指標の説明・数値変化の理由 など》 福祉会館等で行っている各種講座・教室の年間延べ参加人数を示す。参加人数が年々増加傾向になってきており、これは講座・教室数の拡充と市民の関心度、参加意欲が高くなってきたものと思われる。						

事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	各講座で定数を設定しているが、希望の多い講座について、定数増・機会増の要望が多い。				
	都内26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	<input type="checkbox"/> 上 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下	講座・教室の内容に多少の違いはあるが、各市で同様の講座を開講している。(25市中3市が本人負担あり)			
	代替・類似サービスの有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	公民館事業との類似はあるが、対象が高齢者に絞られることから保健福祉計画の重点施策である介護予防事業の展開ができる。			

事業コード 5-2-1	事務事業名 高齢者生きがい推進事業	所管部課 福祉部 高齢者支援課
----------------	-------------------	--------------------

施策コード 笑2-2	施策名 高齢者の生きがいづくりの充実	施策目標 高齢者が地域のなかで生きがいをもって人生をおくることができるまちをめざします。
---------------	-----------------------	---

【一次評価】

検証項目	ランク	一次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等	
A	事業の優先度 (緊急性)	3	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>福祉会館、老人福祉センターでは、健康体操などの介護予防事業や高齢者大学など様々な生きがい推進事業が行われ、地域の高齢者の活動の場としてなくてはならないものとなっている。</p> <p>高齢者人口の増加に伴い、サークル等も多くなり、福祉会館等の活動の場が不足してきている現状があり、平成23年度から、大広間や集会室等の利用希望の多い施設は、利用回数を原則月2回までの使用として、多くの方が利用できるの見直しを行った。</p> <p>今後も、団塊の世代が65歳を超えて、高齢者人口は増加していくことは確実で、福祉会館等における介護予防事業の役割は重要となってくるので、さらにより効果的な魅力ある介護予防プログラムを検証する必要がある。</p> <p>また、受益者負担については、他の事業との整合性及び他市の状況を考慮しながら検証を行う。なお、平成24年度における受益者負担を導入している市は、25市中3市であり、今後も動向を見ながら判断したい。</p>
	事業の必要性	3		
	事業主体の妥当性	2		
B	直接のサービスの相手方	2	<input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>今後も、団塊の世代が65歳を超えて、高齢者人口は増加していくことは確実で、福祉会館等における介護予防事業の役割は重要となってくるので、さらにより効果的な魅力ある介護予防プログラムを検証する必要がある。</p> <p>また、受益者負担については、他の事業との整合性及び他市の状況を考慮しながら検証を行う。なお、平成24年度における受益者負担を導入している市は、25市中3市であり、今後も動向を見ながら判断したい。</p>
	事業内容等の適切さ	2		
	受益者負担の適切さ	1		
C	市民ニーズの把握	2	<input type="checkbox"/> 廃止	

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【二次評価】

検証項目	ランク	二次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等	
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>事業内容については、公民館事業等の類似の事業との住み分けや介護予防を主眼とした事業の展開を図るなど、市の求める内容を適正に反映させるよう管理していく必要がある。介護保険制度に基づく事業との整合を図りながら、利用者負担のあり方についても講座等の内容に応じた検討を要する。</p> <p>委託費（事業費）に占める人件費割合が突出しており、年度当初に概算払いをし、年度末に精算するという委託費の支払方法にも課題があるため、社会福祉協議会と協議し、改善を図ることが必要である。また、市が賃借しているゲートボール場についても、利用者数や利用頻度等を精査し、そのあり方について見直す必要がある。</p>
	事業の必要性	2		
	事業主体の妥当性	1		
B	直接のサービスの相手方	2	<input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>事業内容については、公民館事業等の類似の事業との住み分けや介護予防を主眼とした事業の展開を図るなど、市の求める内容を適正に反映させるよう管理していく必要がある。介護保険制度に基づく事業との整合を図りながら、利用者負担のあり方についても講座等の内容に応じた検討を要する。</p> <p>委託費（事業費）に占める人件費割合が突出しており、年度当初に概算払いをし、年度末に精算するという委託費の支払方法にも課題があるため、社会福祉協議会と協議し、改善を図ることが必要である。また、市が賃借しているゲートボール場についても、利用者数や利用頻度等を精査し、そのあり方について見直す必要がある。</p>
	事業内容等の適切さ	2		
	受益者負担の適切さ	1		
C	市民ニーズの把握	2	<input type="checkbox"/> 廃止	

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	

事務事業評価シート(事後評価)

事業コード 5-2-2	事務事業名 通所介護サービス等事業	所管部課 福祉部 高齢者支援課
----------------	----------------------	-----------------------

施策コード 笑1-2	施策名 高齢者福祉の充実	施策目標 高齢者が住み慣れた地域で安心して健やかにいきいきと暮らせるまちをめざします。
---------------	-----------------	--

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等
	在宅の介護又は支援を要する高齢者等に対して、通所により、介護保険法に定めるサービスを提供することにより、高齢者等及びその家族の福祉の向上を図ることを目的としている。	<input type="checkbox"/> 法律 <input checked="" type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等／補助の概要：補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等 ※該当する予算事業名・節目を明記する 介護保険法の要支援及び要介護の認定を受けた在宅の利用者が、日帰りで施設に通い、可能な限り自立した居宅生活が営めるよう必要な援助をする。市設置民間運営のデイサービスセンターは3箇所あり、サービス内容は、送迎・食事・入浴・機能訓練・趣味創作活動等を実施している。また、介護保険法の定めにより1割の利用者負担金及び食事の提供に要する費用等実費負担がある。 03)民生費 01) 社会福祉費 03) 老人福祉費 29) 通所介護サービス等事業費 13) 委託料ほか	
事業開始時期	平成12 年度	実施形態 <input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

項目	単位	22年度	23年度	24年度	25年度
事業費(A)		230,570	240,884	247,467	254,564
財源内訳					
国庫支出金・都支出金		457	457	630	457
地方債	千円	0	0	0	0
その他 ()		143,902	158,627	177,464	175,464
一般財源		86,211	81,800	69,373	78,643
所要人員(B)	人	0.35	0.52	0.52	0.52
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	2,828	4,246	4,003	4,282
臨時職員賃金等(C')	千円	0	0	0	0
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	233,398	245,130	251,470	258,846
単位当たりコスト (E)=(D)/(利用延人数)	千円	12	12	12	0

活動等指標	単位	22年度	23年度	24年度	25年度
① 稼働率	実績値 %	86.2	88.2	87.5	
② 開所延日数	実績値 日	831	899	893	
《指標の説明・数値変化の理由 など》 1日あたりの利用可能枠(定員)に対する年間平均稼働実績(一般) 年間営業延べ日数(3施設)					
成果指標	単位	22年度	23年度	24年度	25年度
一 利用延人数	目標値				
	実績値	19,536	21,262	20,839	
二	目標値				
	実績値				
《指標の説明・数値変化の理由 など》 デイサービスを利用した年間延べ利用者数					

事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	福祉サービス第三者評価結果報告書の総合的な感想では、「満足」以上の割合が回答者の70%~80%を占めている。
	都内26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	<input type="checkbox"/> 上 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下 16市において公設民営で運営が行われているほか、八王子市、町田市、府中市などでは指定管理者制度が導入されている。
	代替・類似サービスの有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 社会福祉法人等の民間事業者でデイサービスを実施している。

事業コード 5-2-2	事務事業名 通所介護サービス等事業	所管部課 福祉部 高齢者支援課
----------------	-------------------	--------------------

施策コード 笑1-2	施策名 高齢者福祉の充実	施策目標 高齢者が住み慣れた地域で安心して健やかにいきいきと暮らせるまちをめざします。
---------------	-----------------	--

【一次評価】

検証項目		ランク	一次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等	
A	事業の優先度 (緊急性)	3	<input type="checkbox"/> 拡充	<p>平成21年度にプロポーザルを実施し平成22年度に高齢者センターきららの委託先を変更した。平成23年度より土曜日・認知症型通所介護の祝祭日の営業開始など、利用者ニーズに対応したサービスの向上が図られ、利用者等から評価を得ている。また、民間のデイサービスセンターでは、経営上、介護報酬単価が低い軽介護者の受け入れに消極的なこともあり、公設民営によるデイサービスセンター事業は軽介護者の受け皿としての役割を有している。</p> <p>谷戸高齢者在宅サービスセンターは平成18年度から委託しており、委託先の見直しや他市の動向を踏まえた運営について検討していく必要がある。</p>	
	事業の必要性	3	<input checked="" type="checkbox"/> 継続実施		
	事業主体の妥当性	2	<input type="checkbox"/> 改善・見直し		
B	直接のサービスの相手方	1	<input type="checkbox"/> 抜本的見直し		
	事業内容等の適切さ	2	<input type="checkbox"/> 休止		
	受益者負担の適切さ	3	<input type="checkbox"/> 廃止		
C	市民ニーズの把握	2	<input type="checkbox"/> 廃止		
検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目					

【二次評価】

検証項目		ランク	二次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等	
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<input type="checkbox"/> 拡充	<p>類似サービスを提供する民間事業者等が増加している状況の中、公設民営型の本事業において提供すべきサービスは何なのか整理する必要がある。その上で、指定管理者制度を含め、事業運営方法を費用対効果の適正化の観点から検討する必要がある。民間事業者のサービス内容・水準等について、積極的に情報収集を図り、公設民営型の通所介護サービス事業について特有の需要を明確化したうえで、必要量やあり方について検討する必要がある。</p>	
	事業の必要性	3	<input type="checkbox"/> 継続実施		
	事業主体の妥当性	2	<input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し		
B	直接のサービスの相手方	1	<input type="checkbox"/> 抜本的見直し		
	事業内容等の適切さ	2	<input type="checkbox"/> 休止		
	受益者負担の適切さ	2	<input type="checkbox"/> 廃止		
C	市民ニーズの把握	2	<input type="checkbox"/> 廃止		
検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目					

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	

事務事業評価シート(事後評価)

事業コード 5-2-3	事務事業名 高齢者福祉電話貸与事業	所管部課 福祉部 高齢者支援課
----------------	----------------------	-----------------------

施策コード 笑1-2	施策名 高齢者福祉の充実	施策目標 高齢者が住み慣れた地域で安心して健やかにいきいきと暮らせるまちをめざします。
---------------	-----------------	--

事務事業の概要	事務事業の目的	一人暮らし高齢者等に福祉電話を貸与し、及び電話料を助成することにより高齢者の安否の確認、その他各種の相談を関係機関の協力を得て行い、もって孤独感の解消並びに各種のサービスの提供をする。	根拠法令等 <input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input checked="" type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等／補助の概要：補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等 ※該当する予算事業名・節目を明記する	市内に居住し近隣に親族が居住していなく、生計中心者の所得税が年額42,000円以下の世帯かつ世帯全員が携帯電話を所有していない世帯で、定期的に安否の確認を行う必要があると認められる世帯を対象とする。固定電話を設置していない世帯には市の所有権を貸与し、電話設置・移設・撤去に伴う工事費、基本使用料、通話料月額600円まで、これらに係る消費税を助成する。また、固定電話を設置している世帯には、基本使用料、通話料月額600円まで、これらに係る消費税を助成する。	
	事業開始時期	平成13年度	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

項目	単位	22年度	23年度	24年度	25年度
事業費(A)		5,189	4,816	4,418	5,952
財源内訳					
国庫支出金・都支出金		0	0	0	0
地方債	千円	0	0	0	0
その他()		0	0	0	0
一般財源		5,189	4,816	4,418	5,952
所要人員(B)	人	0.15	0.15	0.15	0.15
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	1,212	1,225	1,155	1,235
臨時職員賃金等(C')	千円	0	0	0	0
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	6,401	6,041	5,573	7,187
単位当たりコスト(E)=(D)/(設置数)	千円	34	33	36	0

活動等指標	単位	22年度	23年度	24年度	25年度
①設置数	実績値 件	191	181	156	
②新規設置件数	実績値 件	14	8	15	
《指標の説明・数値変化の理由 など》 新規設置件数は増傾向であるが、既利用者の廃止件数が新規設置件数よりも上回っているため。					
成果指標	単位	22年度	23年度	24年度	25年度
一 次 利用金額(市が補助した総額)	目標値 円				
	実績値 円	5,174,051	4,807,836	4,402,445	
二 次	目標値				
	実績値				
《指標の説明・数値変化の理由 など》 実利用人数の減により、実績値が減少した。					

事業環境等	市民・関連団体等の意見(アンケート結果など)	高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画(第5期)策定のための対象者別の調査における利用希望の割合は5%前後から10%前後となっている。
	都内26市のサービス水準との比較(平均値、本市の順位など)	<input checked="" type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下 固定電話を設置していない世帯に市の所有権を貸与…基本使用料のみを助成26市中6市、②基本使用料と通話料を助成26市中9市、③新規受付をせず登録者のみに基本使用料を助成26市中1市、固定電話を設置している世帯…①基本使用料のみを助成26市中5市、②基本使用料と通話料を助成26市中4市
	代替・類似サービスの有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 特になし

事業コード 5-2-3	事務事業名 高齢者福祉電話貸与事業	所管部課 福祉部 高齢者支援課
----------------	-------------------	--------------------

施策コード 笑1-2	施策名 高齢者福祉の充実	施策目標 高齢者が住み慣れた地域で安心して健やかにいきいきと暮らせるまちをめざします。
---------------	-----------------	--

【一次評価】

検証項目	ランク	一次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<p>高齢者の安否確認は他の事業でも実施しているところであるが、電話所有権がなく、固定電話を設置していない低所得の高齢者世帯では、見守る関係者が連絡をとる手段がないため、市の所有権を貸与して福祉電話での安否確認は必要である。</p> <p>ただし、電話等の通信料は、光熱水費と同様どの世帯でもかかる経費であるため、本事業の意義も含め検討していく必要がある。</p>
	事業の 必要性	2	
	事業主体の 妥当性	3	
B	直接のサービス の相手方	2	
	事業内容等の 適切さ	2	
	受益者負担の 適切さ	2	
C	市民ニーズの 把握	2	

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【二次評価】

検証項目	ランク	二次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度 (緊急性)	1	<p>近年、固定電話以外の情報伝達手段が著しく発展し、高齢者に対するセーフティネットの社会的認知度も向上するなどの社会経済状況が変化している。</p> <p>本事業の目的の一つである高齢者の安否確認については、さまざまな施策・事業が行われている状況であり、まずはそれらを精査する必要がある。</p> <p>その上で、本事業の目的が固定電話の貸与や通話料等の助成でしか成しえないものなのか、また、本事業を必要とする対象者の設定が適切なのか等、廃止も視野に入れた抜本的な見直しが必要である。</p>
	事業の 必要性	1	
	事業主体の 妥当性	2	
B	直接のサービス の相手方	1	
	事業内容等の 適切さ	1	
	受益者負担の 適切さ	1	
C	市民ニーズの 把握	1	

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	

事務事業評価シート(事後評価)

事業コード 5-2-4	事務事業名 高齢者等外出支援サービス事業	所管部課 福祉部 高齢者支援課
----------------	-------------------------	-----------------------

施策コード 笑1-2	施策名 高齢者福祉の充実	施策目標 高齢者が住み慣れた地域で安心して健やかにいきいきと暮らせるまちをめざします。
---------------	-----------------	--

事務事業の概要	事務事業の目的	一般の交通機関での外出が困難な高齢者等に介助員を配したリフト付きの福祉車両等を用いて外出の支援を行うことにより、高齢者等の日常生活の利便を確保し、生活圏の拡大を図ることを目的としている。	根拠法令等	<input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input checked="" type="checkbox"/> 要綱・要領	
	事業内容・実施方法等／補助の概要	補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等 ※該当する予算事業名・節目を明記する			
	利用者宅から目的地までの送迎を実施する。ただし、医療保険による移送費および介護保険による送迎サービスの給付が受けられる場合の外出を除く。	利用範囲：自宅から半径30キロメートル以内。利用者負担：実車料金、有料道路および有料駐車場料金(迎車料金、介助員料金は市負担。)			
	03民生費01社会福祉費03老人福祉費18高齢者等外出支援サービス事業費	事業開始時期	合併前	年度	実施形態

項目	単位	22年度	23年度	24年度	25年度
事業費(A)		2,401	1,407	1,042	2,037
財源内訳					
国庫支出金・都支出金		0	0	0	0
地方債	千円	0	0	0	0
その他()		0	0	0	0
一般財源		2,401	1,407	1,042	2,037
所要人員(B)	人	0.15	0.15	0.15	0.15
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	1,212	1,225	1,155	1,235
臨時職員賃金等(C')	千円	0	0	0	0
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	3,613	2,632	2,197	3,272
単位当たりコスト					
(E)=(D)/(利用延回数)	千円	7	8	10	0

活動等指標	単位	22年度	23年度	24年度	25年度
① 外出サービス利用者数	実績値 人	76	71	65	
②	実績値				
《指標の説明・数値変化の理由 など》 新規登録者より、既存登録者の廃止が多く人数が減少した。					
成果指標	単位	22年度	23年度	24年度	25年度
一 利用延回数	目標値				
	実績値	504	330	225	
二	目標値				
	実績値				
《指標の説明・数値変化の理由 など》 利用回数が多い対象者が減少したことにより、利用延回数が減少した。					

事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	アンケート未実施
	都内26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	<input type="checkbox"/> 上 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下 19市で実施
	代替・類似サービスの有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 民間送迎サービス

事業コード 5-2-4	事務事業名 高齢者等外出支援サービス事業	所管部課 福祉部 高齢者支援課
----------------	----------------------	-----------------------

施策コード 笑1-2	施策名 高齢者福祉の充実	施策目標 高齢者が住み慣れた地域で安心して健やかにいきいきと暮らせるまちをめざします。
---------------	-----------------	--

【一次評価】

検証項目		ランク	一次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度 (緊急性)	3	<input type="checkbox"/> 拡充	<p>要支援・要介護の認定を受け、一人で公共交通機関での外出ができない在宅者は、ケアマネージャーがケアプランを作成および申請をして、調査のうえ承認・不承認の決定をする。</p> <p>通院で承認されると最大で2週間で2回(片道1回)についての利用が可能であり、一人で公共交通機関を使用している外出ができない承認者にとって不可欠なサービスであるため継続実施とする。</p> <p>当事業を利用する際は、ケアプランの一環として事前にケアマネージャーから申請される。ケアマネージャーは、当人と市の橋渡しをすることにより、予定や健康状態を把握できる利点がある。タクシー券での対応は、安否の確認ができないことや、目的外で使用されるケースなどの問題点が考えられる。</p>
	事業の必要性	3	<input checked="" type="checkbox"/> 継続実施	
	事業主体の妥当性	2	<input type="checkbox"/> 改善・見直し	
B	直接のサービスの相手方	1	<input type="checkbox"/> 抜本的見直し	
	事業内容等の適切さ	2	<input type="checkbox"/> 休止	
	受益者負担の適切さ	3	<input type="checkbox"/> 廃止	
C	市民ニーズの把握	2	<input type="checkbox"/> 廃止	

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【二次評価】

検証項目		ランク	二次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<input type="checkbox"/> 拡充	<p>市の助成範囲は、迎車料金と介助員料金のみであり、実車料金、有料道路・駐車場料金は、利用者負担となっている。しかし、実車料金について、非課税世帯は1/2、生活保護世帯は10/10の助成を行っており、ほとんどの利用者は、これに該当し利用目的も通院が9割以上を占める。本事業の目的と照らし合わせて利用対象者が適正か、また、利用実態が介護保険等による送迎サービス給付の代替利用となっていないか等、事業実態を精査する必要がある。</p> <p>そのうえで、移動困難な高齢者等の外出支援のあり方も含めて、本事業の改善・見直しが望まれる。</p>
	事業の必要性	2	<input type="checkbox"/> 継続実施	
	事業主体の妥当性	2	<input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し	
B	直接のサービスの相手方	1	<input type="checkbox"/> 抜本的見直し	
	事業内容等の適切さ	1	<input type="checkbox"/> 休止	
	受益者負担の適切さ	2	<input type="checkbox"/> 廃止	
C	市民ニーズの把握	1	<input type="checkbox"/> 廃止	

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	

事務事業評価シート(事後評価)

事業コード 5-2-5	事務事業名 総合福祉センター運営管理	所管部課 福祉部 高齢者支援課
----------------	--------------------	-----------------------

施策コード 笑2-2	施策名 高齢者の生きがいがづくりの充実	施策目標 高齢者が地域のなかで生きがいをもって人生をおくることができるまちをめざします。
---------------	------------------------	---

事務事業の概要	事務事業の目的	田無総合福祉センターは、老人福祉センターや高齢者在宅サービスセンター、成人保健センターなどが入居する、市民の福祉と健康の増進及び福祉情報の提供並びに保健及び医療との連携を図る施設である。	根拠法令等 <input type="checkbox"/> 法律 <input checked="" type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等／補助の概要：補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等 ※該当する予算事業名・節目を明記する	清掃、警備、施設監理・各種機器・設備の保守点検等については委託により、維持管理を行っている。	
	03) 民生費 01) 社会福祉費 08) 総合福祉センター費 01) 総合福祉センター運営管理費 13) 委託料 01) 建物総合管理委託料、ほか		
事業開始時期	合併前	年度	実施形態 <input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

項目	単位	22年度	23年度	24年度	25年度
事業費(A)		82,177	98,794	181,080	83,171
財源内訳					
国庫支出金・都支出金		0	7,600	83,500	0
地方債	千円	0	0	0	0
その他(市町村総合交付金、他)		2,196	2,699	3,244	2,194
一般財源		79,981	88,495	94,336	80,977
所要人員(B)	人	2	2	2	2
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	16,160	16,330	15,396	16,468
臨時職員賃金等(C')	千円	5,004	4,933	4,518	5,016
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	103,341	120,057	200,994	104,655
単位当たりコスト(E)=(D)/(会議室等の利用件数)	千円	27	37	68	0

活動等指標	単位	22年度	23年度	24年度	25年度
① 会議室等の利用件数	実績値 件	3,772	3,236	2,957	
②	実績値				
《指標の説明・数値変化の理由 など》 年度毎の会議室等の利用件数とする。利用件数については、東日本大震災の影響と施設維持工事等により会議室の貸し出しを規制したことが減少の要因となっている。					
成果指標	単位	22年度	23年度	24年度	25年度
一 老人福祉センター利用者延人数	目標値 人				
	実績値 人	44,977	49,195	54,436	
二 さざんかクラブ延通所者数	目標値 人				
	実績値 人	2,295	2,484	2,403	
《指標の説明・数値変化の理由 など》 利用者数については、老人福祉センターと障害者デイサービス利用人数とする。					

事業環境等	市民・関連団体等の意見(アンケート結果など)	特になし
	都内26市のサービス水準との比較(平均値、本市の順位など)	<input type="checkbox"/> 上 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下 職員体制、委託状況、建物規模、清掃の回数、設備機械等が異なるため費用の比較算出は難しいが、同様の目的をもった施設は各市に存在する。
	代替・類似サービスの有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 なし

事業コード 5-2-5	事務事業名 総合福祉センター運営管理	所管部課 福祉部 高齢者支援課
----------------	--------------------	--------------------

施策コード 笑2-2	施策名 高齢者の生きがいがづくりの充実	施策目標 高齢者が地域のなかで生きがいをもって人生をおくることができるまちをめざします。
---------------	------------------------	---

【一次評価】

検証項目		ランク	一次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<input type="checkbox"/> 拡充	<p>維持管理においては、平成24年度から健康課から所管替えとなり、高齢者支援課の所管となった。平成24年度に空調設備等の大規模改修で施設整備を行った。老人福祉センター業務とセンター全体の管理業務を嘱託員で行っている。老人福祉センターは、旧田無地区のセンターであり、他の福祉会館で行っている介護予防事業の拠点とする地域として、今後運動器具の導入を図り、市全域で介護予防事業を取り組みやすい環境に整備をする必要がある。</p> <p>また、センターの入口付近は窓口がない状態であるため、今後、センター内の他の事業所と連携して、より分かり易い窓口の配置となるように検討すると共に、各部屋の利用目的を再確認し、総合福祉センターとしての機能を明確化する必要がある。</p>
	事業の必要性	3	<input checked="" type="checkbox"/> 継続実施	
	事業主体の妥当性	2	<input type="checkbox"/> 改善・見直し	
B	直接のサービスの相手方	2	<input type="checkbox"/> 抜本的見直し	
	事業内容等の適切さ	2	<input type="checkbox"/> 休止	
	受益者負担の適切さ	1	<input type="checkbox"/> 廃止	
C	市民ニーズの把握	2	<input type="checkbox"/> 廃止	

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【二次評価】

検証項目		ランク	二次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<input type="checkbox"/> 拡充	<p>本事業の目的は、福祉・健康・保健・医療の連携という複合施設ならではのもののであるが、既存施設の有効活用という観点から、以下の点で改善を要する。施設の維持管理費用については、引き続き、毎年度検証し、適正な維持管理に努められたい。</p> <p>平成27年度に1階部分の施設レイアウト変更を予定している等、より使いやすい施設を目指して努力されているが、会議室や検診部屋等の有効活用方策を検討する等、複合施設という特徴を活かし、市民の利便性が高まる施設運営となるよう、一層の努力を求めたい。</p>
	事業の必要性	2	<input type="checkbox"/> 継続実施	
	事業主体の妥当性	2	<input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し	
B	直接のサービスの相手方	2	<input type="checkbox"/> 抜本的見直し	
	事業内容等の適切さ	2	<input type="checkbox"/> 休止	
	受益者負担の適切さ	1	<input type="checkbox"/> 廃止	
C	市民ニーズの把握	1	<input type="checkbox"/> 廃止	

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	